

「東アジア連携」の推進について

「東アジア連携」の推進に関するコンセプトは以下のとおりでよいか。

- ・日本がアジアを牽引するという従来の雁行形態型からアジア域内で最適なサプライチェーンが構築される構造に変化。輸出額でみた国・地域別シェアでは、アジア向けのシェアが欧米諸国向けを逆転。
- ・過去数年間の外国人訪日者数の増加は、東アジア諸国からの入国者が大きく寄与。
- ・物流、人流ともに我が国と東アジア諸国との結びつきが強くなっており、東アジア規模で経済発展のあり方を考えていくことが重要。
- ・日本の都市・地域と東アジア諸国の都市・地域が国境を越えて連携する「東アジア連携」を通じて、我が国を含めた東アジア全体の経済発展を目指す。
- ・東アジアとの連携には、都市単独で活動している形態のほかに、様々な分野において国内の地域で連携して推進母体となることがポテンシャルを大きくすることにつながり有効。
- ・これを支えるヒト、モノ、情報の流れをスムーズにすることも含め、総合的に東アジアの経済成長のエンジンとなる都市・地域を国内に形成。
- ・姉妹都市関係などを通じた相互信頼の構築を前提に、様々な分野で経済的効果につながる連携・交流を行っていく。
たとえば、
 - 知的研究、国際情報収集・発信機能
 - ファッション・デザイン・映像コンテンツ
 - コンベンション、映画ロケ誘致
 - 地域の文化資本を活かした情報発信（自律的観光）
 - 環境、都市問題に関する都市・地域間協力など。
- ・東アジア連携を推進する仕掛けが必要。